

一般社団法人日本災害看護学会 令和7年度定時代議員会 議事録

開催日時：令和7年9月5日(金) 15:00～16:45

開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 304 室

出席代議員（社員）：35 名（代議員総数 44 名）

本人出席：19 名

長田 恵子、尾山 とし子、金谷 雅代、北村 千草、齋藤 正子、酒井 彰久、佐々木 吉子、竹本 由香里、立垣 祐子、内木 美恵、西上 あゆみ、増野 園恵、松岡 千代、三浦 英恵、三橋 睦子、宮前 繁、内木 美恵（組織）、鈴木 美和（組織）、増野 園恵（組織）

委任状：16 名

出席役員（理事）

大野 かおり、酒井 明子、佐々木 久美子、立垣 祐子、今津 陽子、渡邊 智恵、齋藤 正子、渡邊 聡子、増野 園恵、松岡 千代、宮前 繁、大村 佳代子、西上 あゆみ（書記）以上
15 名中 13 名出席

欠席：河原 加代子、神原 咲子

出席役員（監事）

三浦 英恵

欠席：東 ますみ

議事

1. 開会の挨拶（酒井副理事長）

酒井副理事長より開会の挨拶があり、出席代議員 19 名、委任状 16 名であり、定款第 24 条および第 24 条の 4 に基づき、代議員会が成立することが報告された（代議員 44 名中、35 名出席）。

2. 理事長挨拶（大野理事長）

大野理事長より挨拶があった。

3. 第 27 回年次大会の報告（長田第 27 回年次大会長）

長田第 27 回年次大会長より挨拶があった。1051 名登録されている。

4. 議長指名及び議事録署名人選出

【承認】

定款 22 条に従い、議長は大野 かおり理事長が指名された。金谷 雅代氏、佐々木 吉子氏の 2 名を議事録署名人として選出され、承認された。

5. 報告

【承認】

下記の通り報告案について説明され、全員の賛成をもって承認された。

1) 登録会員数の推移（大野理事）：代議員会資料 p.1

2025 年 6 月 30 日現在、名誉会員 10 名、個人会員 1303 名、学生会員 34 名、組織会員 31 組織、賛助会員 3 組織であることが報告された。

2) 理事会報告（大野理事長）：代議員会資料 p.2-6

理事会の活動について大野理事長より報告された。

3) 代議員会報告（大野理事長）：代議員会資料 p. 7

令和 6 年 9 月に開催した令和 6 年度定時代議員会、令和 7 年 6 月に開催した臨時代議員会について報告された。

4) 組織会員会報告（齋藤組織会員理事）：代議員会資料 p.8

組織会員数拡大に向けた活動他報告され、令和 6 年 9 月の第 26 回組織会員会については台風 10 号接近に伴い、資料送付となったことが報告された。

5) インターグループへの対応について（大野理事長）：別途資料

報告に先立ちインターグループ（以下、IG）業務責任者が来場、お詫びがあった。

資料に基づき、これまでの経緯が報告された。また、前回の臨時代議員会以降、8 月 14 日代表取締役と大野理事長の面談が行われ、全面的に IG のミスによること、原因は担当社員の個人情報に関する認識の甘さがあったこと、業務委託契約が順守できていなかったことを確認した。面談では、今後も運営において、誠心誠意対応するとのこととお詫びはあったものの、会員へのお詫びは告げられず、今後の対応策も表面的な内容であった。その後の抄録集編集に関しても発送期日が守れない、修正の依頼に対しても対応できない事案が複数出現した。これらに関して本会の対応として、IG の業務委託契約の違反内容確認に対応すること、今後の委託業者選定上で注意すること等が必要である。

6. 議事

1) 令和 6 年度事業報告の承認：代議員会資料 p.8-12

【承認】

下記の通り報告案について説明され、全員の賛成をもって承認された。

(1) 学会誌編集・発行（渡邊聡子理事）

学会誌 3 誌の発行、査読委員選定基準及びオンラインによる就任手続きを行なった。オンライン投稿システムを検討している。

(2) 組織会員の活動推進（齋藤組織会員理事）

組織会員拡大に向けた活動などを行った。

(3) 社会貢献・広報活動（立垣理事）

ホームページのリニューアル、ニュースレター 2 号の発刊を行った。第 26 回年次大会の企画は対面学会が中止となり、実施できなかった。

(4) ネットワーク活動（佐々木理事）

初期調査の実施、委員会の開催、先遣隊調整等を行った。

(5) 教育活動（酒井副理事長）

災害看護に関する教育セミナーは能登半島地震に関して 2 回のスタディーツアーが実施されたこと、1 回はライブ配信によるセミナーが行われたことが報告された。

(6) まちの減災ナース指導者（松岡理事）

まちの減災ナース指導者 7 期生の養成研修と短期 2 期生の研修、第 6 期生と短期 1 期生のフォローアップ研修を開催した。研修修了生にアンケートを実施、修了後の活動について調査を行なった。

(7) 認証制度（大村理事）

第 7 期まちの減災ナース指導者および短期研修 2 期生の認証審査を行なった。1 期生と 2 期生の更新認証並びに、細則等の整理を行った。

(8) 国際交流の推進（代理：大野理事長）

第 26 回年次大会の企画と実施、第 8 回世界災害看護学会開催の支援を行った。

(9) 募金活動（渡邊智恵理事）

モロッコ地震、令和 6 年度能登半島地震・奥能登豪雨看護活動資金募金、ミャンマー地震で募金を行った。

(10) 災害看護学術用語（代理：大野理事長）

ホームページ全面リニューアルにあわせて現在掲載中の用語すべての確認と更新を行った。2025 年度は 4 つの用語を新規掲載した。

(11) 若手アカデミー（代理：大野理事長）

2 つの分科会での活動の継続やネットワークの拡大等、日本災害看護学会学生会運営に向けたサポートを行った。

(12) 災害看護倫理検討（今津理事）

研究倫理審査申請が 2 件あり、承認した。第 26 回年次大会でセッションを行い、学会誌に報告した。会員を対象とした研究倫理支援ニーズを調査した。

(13) COI マネジメント（増野理事）

COI 状況を確認し、自己申告等に関する Q&A の作成・発信等を行った。

(14) 災害看護ケアの質向上（渡邊智恵理事）

災害看護専門看護師 2 名をワーキンググループメンバーに加え、災害看護の概念分析を進めようとしたが、文献が少なかった。第 26 回年次大会でシンポジウムを開催、第 27 回年次大会では講演会を実施する。

(15) 将来構想プロジェクト（大野理事長）

他組織との学際的ネットワークを推進し、連携企画へ参画した。国外ネットワークの発展では、第 8 回世界災害看護学会学術集会開催に向けた協力を行った。

(16) 能登半島地震災害看護プロジェクト（酒井副理事長）

後述の委員会活動報告で詳細に説明された。

(17) 学術集会（酒井副理事長）

第 26 回年次大会の企画及び開催、第 27 回年次大会の準備及び開催について報告があった。

(18) その他（大野理事長）

看護系社会保険連合（看保連）、日本看護系学会協議会（JANA）への参加、日本学術会議事業と防災学術連携体への参加と情報発信、世界看護科学学会（WANS）、世界災害看護学会（WSDN）等との連

携を行なった。

2) 令和 6 年度会計報告・監査報告の承認 (宮前理事): 代議員会資料 p.13-20

【承認】

資料に基づき、会計報告・監査報告があった。貸借対照表の説明、予算対比正味財産増減計画書、財産目録の説明、会計確認報告について説明があった。また、税理士による会計確認報告でも適正に表示されていることが確認され、令和 8 年度より消費税課税事業者となる所見が提示された。三浦監事より令和 7 年 7 月 23 日に当該年度における事業報告内容及び財務諸表について監査を行なった結果、適正に表示されていることを認めると報告された。

報告後、令和 6 年度事業報告、会計報告は全会一致で承認された。

3) 令和 7 年度事業計画案の承認 (大野理事長): 代議員会資料 p.23-26

【承認】

代議員会資料に基づき各事業案の説明がなされた。

(1) 学会誌編集・発行

学会誌第 27 巻 1 号～3 号の発行及び査読者の選任・委嘱を行う。また、オンライン投稿・査読システムの導入検討を行う。

(2) 組織会員の活動推進

組織会員数の拡大、大規模災害時における看護職での連携体制の整備の検討を行う。

(3) 社会貢献・広報活動

ホームページ保守・管理・運営、ニューズレターの発行等を行っていく。

(4) ネットワーク活動

初期調査・初動調査、継続調査の実施、先遣隊派遣の調整等を行う。

(5) 教育活動

教育セミナーの企画・実施を行う。

(6) まちの減災ナース指導者

「まちの減災ナース指導者」募集と養成研修を実施する。

(7) 認証制度

第 8 期生、短期研修 3 期生の認証審査、3 期生の 5 年更新を行い、更新制度やシステムの整備を行っていく。

(8) 国際交流の推進

世界災害看護学会 (WSDN) との連携、WSDN 事務局として役割等の継続した実施を行っていく。

(9) 募金活動

募金について、従来通り実施していき、マンマー募金の送金を行う。

(10) 災害看護学術用語

災害看護関連用語の追加用語の検討やホームページのシステム改善を行う。

(11) 若手アカデミー

若手科学者の視点を活かした災害看護への提言、若手アカデミーのネットワークの拡大の運営サポートを実施する。

(12)災害看護倫理検討

研究倫理審査会を組織し、審査受付・実施を開始する。災害看護研究における研究倫理の理解や意識向上に向けて啓発活動を行っていく。

(13)COI マネジメント

COI マネジメント実施体制を確立し、オンラインによる自己申告を開始する。COI マネジメントに対する理解と意識向上のための研修会を実施する。

(14)災害看護ケアの質向上

看護ケアの質向上に向けた取り組み内容の検討を継続する。

(15)将来構想プロジェクト事業

災害看護に関する活動体制及び方法の開発、国内外のネットワークの検討、災害看護学としての知識体系・教育プログラム体系、安定的な組織運営を行っていく。

(16)学術集会

第 27 回年次大会の企画及び開催、第 28 回、第 29 回年次大会の準備を行う。

(17)その他

看保連、JANA、防災学術連携体、WSDN や WANS、HEDN との連携・活動を推進する。

4) 令和 7 年度予算案の承認 (宮前理事): 代議員会資料 p.27

【承 認】

資料に基づいて、令和 7 年度予算案の説明があった。

報告後、令和 7 年度事業計画案、予算案は全会一致で承認された。

5) 理事及び監事の選任 (役員選挙結果の承認 (清水選挙管理委員)): 代議員会資料 p.28 - 30

定款の規定により、理事及び監事の全員が本代議員会終結をもって任期満了となるため、その改選が必要であり、選挙管理委員からの説明に先立ち役員の定数について大野理事長より説明された。引き続き、清水選挙管理委員より、代議員会選挙結果の説明があった。その後、個人会員理事 7 名、組織会員理事 1 名、監事 2 名を確定したと報告があり、全会一致で下記のとおり承認された。なお、被選任者は席上就任を承諾した。

記

理事 増野園恵、西上あゆみ、内木美恵 (新任)、神原 (児玉) 咲子、酒井彰久 (新任)、松岡千代、三橋睦子 (新任)、宮前繁、

監事 山本あい子 (新任)、寛淳夫 (新任)

6) 理事 5 名の選任 (推薦理事の承認 (大野理事長)): 資料別途提示

前記 5) で承認された理事に加えて、下記の 5 名を選任したい旨説明し、全会一致で承認された。なお、被選任者は席上就任を承諾した。

記

理事 今津陽子、加古まゆみ (新任)、勝沼志保里 (新任)、齋藤正子、藤田さやか (新任)

7) 委員会活動報告

(1) まちの減災ナース指導者（松岡理事）

目的、育成研修の概要、認定審査と認定に関して説明があった。短期研修は 1.5 日で実施しているが、期間の妥当性などが今後の検討である。育成研修は 7 期生と、短期研修 3 期生終了しているが、5 年更新とし、ポイント制で 1 期生、2 期生の更新審査を行った。1 期生に関しては当初、更新制度を説明してなったこと、コロナもあり、考慮している、現在、115 名の指導者がいる。活動例として「まちの減災ナースの育成」「地元防災・減災活動」や、チーム川崎では業者と共同企画を行った。今後の課題の展望として、育成上の課題、活動上の課題がある。今後の展望として、増やすという点から育成研修方法を検討する。Teams の活用などを進めたい。現在、組織会員の兵庫県看護協会とは、「まちの保健室」との連携や災害支援ナースとの連携として、平常時の減災活動をしてはどうかと考えている。

(2) ネットワーク活動報告（佐々木理事）

概要と目的、組織体制の説明があった。「調査調整部」、「先遣隊」の活動の説明があり、毎月「調査調整部」では 3 名体制で調査が行われている。初期調査、初動調査、継続調査の説明と先遣隊の活動の説明があった。令和 5 年からの 2 年間の初期調査結果では地震が 14 件、水害 9 件等説明された。継続調査は 2 回行われた。先遣隊の活動に関しては、令和 6 年能登半島地震調査、令和 7 年 8 月の豪雨災害が説明された。委員会では活動体制の整備について検討で終わり、11 期に引き継ぎたい。

(3) 令和 6 年度能登半島地震災害看護プロジェクト報告（酒井副理事長）

設置と概要、支援活動の全体像が説明された。珠洲市長より委託を受け、保健医療福祉調整本部および珠洲市ささえ愛センターを拠点に、kintone（クラウド型の Web データベース）にて情報共有を行いながら、各種団体との連携を密に活動した。プロジェクトの活動目的は、災害関連死防止とコミュニティ支援であり、プロジェクト活動者は、延べ 530 名であった。活動資金は、中央共同募金、日本財団、本会からの募金活動である。今後、プロジェクト報告書を作成し、学会誌およびホームページにて公開予定である。27 回年次大会学会企画で「復興に向けた連携・協働」をテーマにシンポジウムを開催する。

11) 第 29 回年次大会大会長の承認（大野理事長）: 代議員会資料 p.31

【承認】

日本赤十字看護大学の内木 美恵氏が推薦され、全会一致で承認された。

7. 第 28 回年次大会会長あいさつ

佐々木 久美子氏（日本赤十字東北看護大学）より挨拶があった。テーマは「『生きるを支える』ネットワークと地域力の醸成」、会期は 2026 年 10 月 3 日（土）・10 月 4 日（日）秋田県秋田市で行われる。

8. 閉会のあいさつ

酒井副理事長の挨拶により、令和 7 年度定時代議員会は閉会した。

一般社団法人日本災害看護学会 令和7年度定時代議員会 議事録

令和7年9月5日

議 長 大野 かおり (印)

議事録署名人 金谷 雅代 (印)

議事録署名人 佐々木 吉子 (印)

(印) (印) (印)

(議事録作成者：理事長 大野かおり)